

■志賀咲子 俳優。墮胎事件など、転変したことで名を遺す。
しがあきこ
韓国併合・・1910 = 京都市に生れる。本名竹久悦子。父康之は官界から転じた実業家。母寿美子は同志社大学総長となった海老名弾正の縁つづきで、幼くして海老名のもとに引取られ女子学院に学んだクリスチャン。

明治天皇没・1912 = 2歳：

八咫神条約・1919 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 11歳：

護憲三派圧勝1924 = 14歳：台湾台北の静条高等女学校に入学。
治安維持法・1925 = 15歳：2年生のとき、母が死去し、長崎市の活水高等女学校へ転校。

共産党事件・1928 = 18歳：
世界恐慌・・1929 = 19歳：卒業。東京世田谷にいた父のもとに帰り、家事手伝いのかたわらピアニストを志す。父の勤める縁談を嫌い、家出して日本橋でダンサーとなる。ここで帝国キネマのスター中野英治に見出され、城りえ子の芸名で「若き血に燃ゆるもの」にデビューしたが、人気を得られず、海軍軍縮条約1930 = 20歳：満州事変・・1931 = 21歳：国際連盟脱退1933 = 23歳：*新興キネマに移籍して志賀咲子と改名。「新しき天」「霧笛」で妖艶な美貌を印象づけ、スターの仲間入りをする。ひき続き「山の呼び声」「花咲く樹」「女の友情」「情熱の不知火」で村田実監督の秘蔵っ子として華々しく売り出すも、芥川直木賞始1935 = 25歳：墮胎事件で起訴され、人気スターの座を追われた。二二六事件・1936 = 26歳：懲役2年、執行猶予3年の判決をうける。日中戦争始・1937 = 27歳：「美しき鷹」でカムバックしたが人気は戻らず、健保+総動員 1938 = 28歳：福島県会津若松市の素封家の次男で詩人志望の佐藤誠三と結婚したが、

日米開戦・・1941 = 31歳：

敗戦・・・・1945 = 35歳：
新憲法公布・1946 = 36歳：

極東裁判決・1948 = 38歳：男児を抱えて夫と死別。童話作家として自立をはかる一方、中野英治の肝いりで、

朝鮮戦争始・1950 = 40歳：「浪人街」で再び銀幕に返り咲いたが、子供の教育のためもあって、独立回復・・1951 = 41歳：

55年体制始・1955 = 45歳：

なべ底不況・1957 = 47歳：*大映「永すぎた春」に助演したのを最後に退社し、「われ過ぎし日に-哀しき女優の告白」を出版。

その後は童話の執筆などをする。
安保闘争・・1960 = 50歳：

東京初光バック 1964 = 54歳：

石油ショック1973 = 63歳：

中曽根内閣・1982 = 72歳：

ドイツ統一・・1990 = 80歳：_没した。

「日本の女性」